

令和 7 年 度

市立川尻小学校 A 棟外壁及び屋上防水修繕

設計書

相模原市

[illegible]

建築修繕					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
防水修繕	屋上防水	1	式		
防水修繕	バルコニー	1	式		
防水修繕	その他	1	式		
計					
外壁修繕	下地補修	1	式		
外壁修繕	外壁	1	式		
外壁修繕	その他	1	式		
計					
内装修繕	天井張替	1	式		
計					
防水撤去	防水撤去	1	式		
計					
アスベスト除去	石綿含有仕上塗材撤去	1	式		
計					
シーリング撤去		1	式		
計					
樋撤去	樋撤去	1	式		
計					

建築修繕						
		防水修繕		屋上防水		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
水洗い	15MPa	1,088	m ²			
(PH)						
ウレタン塗膜防水	X-2 シリコトップ 立上り - 機械基礎含む	24	m ²			
ウレタン塗膜防水	X-2 シリコトップ 平場 防滑	40.4	m ²			
改修用横型ドレン 100φ		1	か所			
(RF)						
仮防水 (立上り・平場シート 防水撤去部)	ボリマーセメントペースト	720	m ²			
下地(水勾配)調整 (平場)	ボリマーセメントモルタル	125	m ²			
下地調整 (立上り)	カチオン系モルタル下地調整	79.5	m ²			
シート防水 (平場)	S-M2 機械固定工法 塩化ビニル樹脂 厚2.0 遮熱仕様 平場 シール材共	640	m ²			
シート防水 (立上り)	S-M2 機械固定工法 塩化ビニル樹脂 厚2.0 遮熱仕様 立上り シール材共	79.5	m ²			
塩ビ被覆鋼板	入隅用 50×50 -	222	m			
防水押え金物	アルミ製 シート防水用	222	m			
脱気筒	平場部 ステンレス製	10	か所			
ドレン廻り鋼板	横引き用 350×350 樹脂モルタル補修 仮防水等共	8	か所			
改修用横型ドレン 100φ		8	か所			
防水押え金物取り 合い補強処理	ボリウレタン系シーリング+補強メッシュ	222	m			
ウレタン塗膜防水	X-2 シリコトップ 立上り -	70.8	m ²			
(3F屋上)						
仮防水 (立上り・アルミ笠木 撤去部)	ボリマーセメントペースト	51.9	m ²			

[illegible]

[illegible]

建築修繕						
外壁修繕						
外壁						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(外壁)						
防水形複層塗材E	シリコン系 凸凹仕上げ 下地清掃:高圧水洗(15Mpa) 下地調整:コンクリート面・C-2(カチオン系)共	2,980	m ²			
打継目地	ポリウレタン系 20×10	501	m			
構造目地	ポリウレタン系 30×20	126	m			
既存建具廻り シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10	1,852	m			
(巾木)						
外巾木	フロー補修 (C-2)	80.2	m ²			
(軒天)						
軒裏 外装薄塗材E	砂壁状 吹付け 下地清掃:水洗い(15Mpa) 下地調整:コンクリート面・C-1共	251	m ²			
(鉄骨階段)						
D P 塗り (改修仕様)	鉄鋼(塗替え面) 錆止工程B種 下地調整RB種 上塗り塗料1級(フッ素)	48.2	m ²			
D P 塗り (改修仕様) (糸幅300mm以下)	鉄鋼(塗替え面) 錆止工程B種 下地調整RB種 上塗り塗料1級(フッ素)	212	m			
(SD扉・ハコニー手摺)						
D P 塗り (改修仕様)	鉄鋼(塗替え面) 錆止工程B種 下地調整RB種 上塗り塗料1級(フッ素)	12	m ²			
D P 塗り (改修仕様) (糸幅300mm以下)	鉄鋼(塗替え面) 錆止工程B種 下地調整RB種 上塗り塗料1級(フッ素)	125	m			
(屋上煙突カバー)						
D P 塗り (改修仕様)	鉄鋼(塗替え面) 錆止工程B種 下地調整RB種 上塗り塗料1級(フッ素)	11.6	m ²			
(屋上タップ)						
D P 塗り (改修仕様) (糸幅300mm以下)	鉄鋼(塗替え面) 錆止工程B種 下地調整RB種 上塗り塗料1級(フッ素)	11.8	m			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

相模原市環境方針

本市は、「相模原市環境基本条例」の基本理念に則り、望ましい環境像「人と自然が共生するまち～市民と築く、地域循環共生都市さがみはら～」を実現するため、事務事業の実施に当たり、以下のとおり、取組目標を設定し、継続的改善を推進します。

- 1 「相模原市環境基本計画」に基づき、環境関連施策を推進し、事務事業の実施に伴う環境負荷の低減を図ります。
- 2 地球温暖化対策や循環型社会の形成などを推進するため、再生可能エネルギー等利用設備の導入、省エネルギー機器の導入、公用車適正利用の推進、ごみの減量化・資源化の推進、資源・エネルギーの有効活用に取り組みます。

令和2年4月1日

相模原市長

【相模原市環境基本条例 基本理念】

- 1 環境の保全及び創造は、市民が健康で安全かつ文化的な生活を営むことのできる自然と調和の取れた豊かな環境を確保し、及び向上させ、並びに将来の世代へ継承していくことを目的として行うものとする。
- 2 環境の保全及び創造は、環境に関する資源の有限性を認識するとともに、その適正な管理及び利用を図り、もって環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会を構築することを目的として行うものとする。
- 3 環境の保全及び創造は、市、事業者及び市民相互の協力の下に行うものとする。
- 4 地球環境保全は、人類共通の課題であるとともに市民の健康で安全かつ文化的な生活を将来にわたって確保する上で極めて重要であることから、積極的に推進するものとする。